

地震に備える



平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの尊い命が失われました。また、昨年の4月には熊本地震が発生し、被災者のみなさんは今なお、不自由な生活を余儀なくされています。

ここ福岡県でも警固断層の南東部を震源とする強い地震が発生する可能性が高く、本市では最大震度6強の揺れになると予想されています。いつ起こるかわからない突然の地震に対し、あわてないよう普段の心構えと準備を行いましょ。

●住宅の耐震診断、耐震補強は？

昭和56年以前に建築された住宅は、耐震診断を実施し、耐震性がないと判断されたら、柱や土台などの補強を行いましょ。

●家具の転倒防止をしていますか？

本棚やたんすなどの家具は、転倒しないように、L字型金具などを使ってしっかり留めておきましょ。食器棚などのガラスにはガラス飛散防止フィルムを貼っておきましょ。

また、寝ているときに棚が倒れてきたり、上に置いたものが落ちてきたりしないよう、家具の配置を工夫しましょ。

●家の周囲は安全ですか？

地震で倒れたブロック塀や石塀の

下敷きになって亡くなったケースもあります。ブロック塀などがある場合は、ぐらつきやひび割れ、傾きなどがなければ点検し、必要に応じて補強しておきましょ。

また、プロパンガスのボンベは、しっかりと固定しておきましょ。

●非常持ち出し袋の準備や家庭内備蓄をしていますか？

いざというとき、避難生活に必要なものや、避難生活に必要なもの、水と一つにまとめておきましょ。

食料は最低3日分を備蓄しておきましょ。

●家族の安否確認方法は？

地震時に落ち合う場所をあらかじめ決めておきましょ。

また、NIT「災害用伝言ダイヤル171」や、携帯電話会社の「災害用伝言板」の活用を家族で決めておきましょ。

●問い合わせ先

安全安心課消防・防災担当

☎(580)1899

地震が発生したら

1. 地震が起こったら、揺れがおさまるまでテーブルの下などに隠れ、身の安全を確保する。
2. 揺れがおさまったら、ドアや窓を開けて脱出口を確保する。
3. 火元を確認する。火が出ていたら初期消火をするが、無理はしないこと。
4. 外へ逃げる。このとき、あわてず、落下物から頭を守りながら逃げる。ブロック塀やがけ、川べりなどにはなるべく近寄らないこと。
5. 学校のグラウンドや公園など、周りに建物が無く、火よけ地になるような広い場所に逃げる。
6. 余震などがおさまったら、コミュニティセンターや公民館、学校などの避難所に避難する。

正しい情報の収集に努め、まわりの人と助け合って災害から身を守りましょ。